「柔道を見る楽しみ」

7月6日、東京武道館にて、東京都ジュニア柔道体重別選手権大会が開催された。15歳から20歳の若い選手たちが参加し、9時30分から9時間、全572試合が行われた。

本日の試合は8試合場に分かれて行われた。最後に、第2試合場で、女子70㎏級と男子６６㎏級の決勝戦が行われた。

女子70㎏級の決勝戦は、本田万智（日本大学）が芝田仁美（修徳高校）を相手にして横四方固めで一本勝ちした。女子選手たちの活躍を代表するような見事な試合であった。

男子６６㎏級は、嶋貫蓮（足立学園高等学校）が大柿将馬（國學院大學）を相手に、残り24秒、絞め技で一本勝ちした。軽量級の特徴であるスピードのある柔道を楽しく見ることができた。

ところで、「日本国民にとって、見るのが好きなスポーツは何か。好きなスポーツ選手は誰か。」という全国世論調査を読売新聞社が実施した。

見るのが好きなスポーツの上位の項目は次のようになっている（『読売新聞』朝刊、2025年5月26日）。

１．プロ野球　２．高校野球　2．米大リーグ　４．駅伝　５．バレーボール　６．大相撲　７．フィギュアスケート　８．プロサッカー　９．マラソン　10．卓球　１１．バスケットボール　（高校野球と米大リーグは同得点）

いずれも人気の高いスポーツであるが、ラグビー、水泳等が入っていないのは意外に感じた。そして、特に残念なのは、柔道が上位に入っていないことである。

好きなスポーツ選手の上位ランキングは次の通りである。

1. 大谷翔平（大リーグ）　２．井上尚弥（ボクシング）　３．松山英樹（ゴルフ）　４．三苫薫（サッカ

―）　５．大の里（大相撲）　６．久保建英（サッカー）　７．石川祐希（バレーボール）　８．河村勇輝（バスケットボール）　９．イチロー（野球）　10．岡本和真（野球）　１０．高橋藍（バレーボール）

ここでも柔道選手は選ばれていなかった。

柔道を見る楽しみを伝えるためには、どのようなことをすべきなのだろうか。例えば、まだ柔道の試合を見たことがない東京都内の児童（保護者同伴）たちを大会会場に招待するのはどうだろうか。観戦の際には、柔道関係者が分かり易く解説してあげることで、さらに興味を持ってくれるかもしれない。

ジュニア選手たちの活躍を見て、柔道を見る楽しさを感じてくれれば、関心を持ってくれることに繋がるだろう。

柔道を見る楽しみをどう伝えていくのか、これからも考えていきたい。

（広報副委員長　大坪宏至）